

環境創出に関する行動計画書（平成20年3月06日作成）

1 環境創出協定第4条に基づく維持管理目標値及び将来目標値等

		法令に基づく 規制基準	維持管理 目標値	自主検査 の頻度	将来目標値
大気汚染 (排出ガス)	硫黄酸化物濃度 硫黄酸化物量 窒素酸化物濃度 ばいじん	k=17.5 1.20~5.16m3N/h 180PPM 0.3g/m3N	K=0.3 0.1m3N/h 130PPM 0.03g/m3N	1回以上/年	K=0.3 0.1m3N/h 130PPM 0.03g/m3N
下水道 放流水 (排水)	pH BOD SS N-Hex抽出物(油分等) 銅 亜鉛 全クロム 全窒素 全リン 全シアン 鉛 アンモニア・アンモニウ ム化合物・亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	5.0~9.0 600mg/l以下 600mg/l以下 5mg/l以下 3mg/l以下 2mg/l以下 2mg/l以下 240mg/l以下 32mg/l以下 1mg/l以下 0.1mg/l以下 380mg/l	6.0~8.0 200mg/l以下 200mg/l以下 2.5mg/l以下 1.5mg/l以下 1.5mg/l以下 1mg/l以下 80mg/l以下 10mg/l以下 0.3mg/l以下 0.03mg/l以下 100mg/l	1回/月	6.0~8.0 200mg/l以下 200mg/l以下 2.5mg/l以下 1.5mg/l以下 1.5mg/l以下 1mg/l以下 80mg/l以下 10mg/l以下 0.3mg/l以下 0.03mg/l以下 100mg/l
(排水) 雨水及び地下 水汚染処理水	ス-1、2-ジクロロフェ ン トリクロロフェ ン	0.4mg/l以下 0.3mg/l以下	0.2mg/l以下 0.15mg/l以下	1回/年	0.2mg/l以下 0.15mg/l以下
騒音	騒音の大きさ	朝 60dB以下 昼 65dB以下 夕 60dB以下 夜間 50dB以下	朝 57dB以下 昼 59dB以下 夕 57dB以下 夜間 48dB以下	1回/6ヵ月	朝 57dB以下 昼 59dB以下 夕 57dB以下 夜間 48dB以下
振動	振動の大きさ	昼 65dB以下 夕 60dB以下	昼 40dB以下 夕 40dB以下	1回/6ヵ月	昼 40dB以下 夕 40dB以下
地下水検査	ス-1・2-ジクロロフェ ン トリクロロフェ ン	0.04mg/l以下 0.03mg/l以下	土壌・地下水浄化 対策継続実施中	1回/3ヶ月	0.04mg/l以下 0.03mg/l以下

	将来目標値	到達目標年	備考
CO2排出量	2006年度対比 6%削減	2011年3月	原単位比較
廃棄物発生量	2006年度対比 15%削減	2011年3月	原単位比較
用水使用量	2006年度レベルを維持する	2011年3月	原単位比較
用紙購入量	2006年度対比 30%削減	2011年3月	原単位比較

改善対策項目	到達目標年
製品環境影響化学物質：鉛、六価クロム、カドミウム、塩化ビニルの全廃	2006年全廃達成
部品リユース、再生材料の利用、リサイクル機と合わせて、20%以上	2011年3月
自然エネルギーの導入検討	2011年3月

2 目標値を達成させるための具体的な方策

- (1) 大気汚染
現状の維持継続（自主管理値内に管理されている）
- (2) 水質汚濁
現状の維持継続（自主管理値内に管理されている）
- (3) 騒音
防音カバー等の防音装置設置検討
- (4) 振動
現状の維持継続（自主管理値内に管理されている）

3 廃棄物対策

- ・ゴミゼロ事業所の維持・継続
入口管理による廃棄物量の削減
中間管理・分別の徹底
出口管理により再利用化を明確にし有価にすることにより廃棄物量を削減する

4 温室効果ガス排出抑制対策

- (1) 緑化の推進
現状の維持継続（社有地に約40万m²の山林を有し、中山道に隣接しており、年4回周辺道路の清掃活動を実施している。）
- (2) 電気使用量の削減
電気製品の省エネタイプへの切替え
未使用時の電源OFF活動
空調設備の入れ替えによる電気使用量の削減
- (3) 作業車両及び自動車の対策
環境推奨車種の利用

5 用水使用量の削減

空調機の交換に伴い、クーリングタワーの廃止による用水使用量の削減

6 用紙使用量の削減

書類の電子化を推進し事務用紙の削減

7 グリーン購入に関する具体的な内容

集中購買サービスにより事務用品についてはエコマーク認定商品を購入

8 その他の環境創出に関する対策

- 事業所周辺清掃の継続実施（年4回）
- ゴミゼロ事業所の維持継続
- 恵那市生涯学習講座「出前講座」の実施